

文学が香り、舞台を彷彿させる知的なプログラム  
欧州楽界で話題のデュムソーが東京でのシンフォニーコンサートにデビュー



指揮 conductor

ピエール・デュムソー

Pierre Dumoussaud



チェロ cello

ニコラ・アルトシュテット

Nicolas Altstaedt

### The 140th Subscription Concert

ルーセル 交響的断章《蜘蛛の饗宴》op.17  
Roussel Fragments symphoniques «Festin de l'araignée» op. 17

プロコフィエフ 交響的協奏曲ホ短調 op.125  
Prokofiev Sinfonia Concertante in E minor op. 125

ビゼー 劇付随音楽《アルルの女》第1組曲・第2組曲  
Bizet Incidental music «L'Arlésienne» Suite No. 1 & No. 2

©Edouard Brane

©Marco Borggreve

日時・会場 2024年9月20日(金) 開演19時(開場18時30分)  
19:00 on Friday, September 20th

21日(土) 開演14時(開場13時30分)  
14:00 on Saturday, September 21st

紀尾井ホール  
Kioi Hall

料消 費 税 込 S席 8,800円 A席 7,800円 B席 5,800円  
U29 A席 2,000円 U29 B席 1,500円

当日会場価格は各券種+500円となります(各種割引の対象外)  
※料金は税込のみです。本紙掲載の料金のほか、所定の手数料がかかります。手数料はお支払方法により異なります。  
※各会員割引は各公演1会員様4枚までとなります。  
※U29は公演当日に29歳以下の方を対象とする優待料金です。取扱いは紀尾井ホールウェブチケットのみで、枚数には制限があります。詳しくは紀尾井ホールウェブサイトをご覧ください。

発売日

2024年5月24日(金) 正午(12時)~

紀尾井ホールウェブチケット  
<https://kioihall.jp/tickets>

操作方法については、ヘルプデスク 0570-550372  
(火~金 12時~16時)へお問合せください。  
チケットぴあ <https://t.pia.jp> [Pコード:267-024]  
イープラス <https://eplus.jp>  
CNプレイガイド 0570-08-9999(10時~18時 年中無休)  
<https://www.cnplayguide.com/>



チケット申込み

※出演者・曲目は予告なく変更となる場合があります。  
※小学生のご鑑賞には保護者(成人)のご同伴をお願いします。  
※乳幼児等未就学のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。  
※不測の事態で公演中止となる可能性がございます。その場合はウェブサイトにてお知らせいたします。公演中止の場合に限り、チケットご購入者に券面表示金額にて払戻しいたします。

無料ご招待席「紀尾井みらいシート」

小学生から高校生まで(公演日基準)とその保護者をご招待。詳しくは裏面をご覧ください。

[主催] 公益財団法人 日本製鉄文化財団

[助成] 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))  
独立行政法人日本芸術文化振興会

[特別協賛]

三井不動産  
MITSUI FUDOSAN

[協賛]

住友商事株式会社

MITSUI & CO.

三菱商事株式会社

# 紀尾井ホール室内管弦楽団 第140回定期演奏会

パリ・オペラ座などで活躍を繰り広げ、24年2月の同バレエ団来日公演でも大絶賛された。デュムソーが東京で初のシンフォニーコンサートを指揮します。テーマは文学に基づく舞台用作品。ファーブルの『昆虫記』に想を得て書かれたルーセルの《蜘蛛の饗宴》はバレエのために、ドーデの同名小説に基づくビゼーの《アルルの女》は戯曲に付けられた音楽です。コンチェルトにはアルトシュテットを再び迎え、プロコフィエフの壮大な交響的協奏曲を。こちらにも《ロミオとジュリエット》の旋律が聴こえ、文学の香りを放ちます。



指揮 ピエール・デュムソー Pierre Dumoussaud, conductor

1990年フランス生まれ。ADAMI指揮コンクールで第1位受賞後、急速アラン・ロンバルの代役としてデビューしたボルドー＝アキテーヌ国立管で2014～16年に副指揮者を任せ、それを機に数多くのオペラやバレエ公演を成功に導いた。2017年には第1回ワロン王立歌劇場オペラ指揮者国際コンクールで優勝。以後オペラ指揮者としては2018年ルーアン歌劇場《蝶々夫人》、モンペリエ国立歌劇場オッフェンバック《ファンタジオ》、19年ローザンヌ歌劇場《美しきエレーヌ》、20年バイエルン州立歌劇場《ミニョン》、22年ボルドー国立歌劇場《ウェルテル》、ギリシャ国立歌劇場《ファウスト》などを指揮。

2022年、フランス最高峰の音楽大賞ヴィクトワール・ドゥ・ラ・ミュージックにおいて、新設された新進指揮者賞(Révélation chef d'orchestre)を受賞し、またフランス政府から芸術文化勲章シュヴァリエの称号を授与された。

©Edouard Brane

オーケストラ指揮者としてはトゥールーズ・キャピトル国立管やフランス放送フィル、ベルリン・フィル・カラヤン・アカデミー、オーヴェルニュ管、ローザンヌ室内管、スイス・イタリア語放送管、ガリシア・リアル・フィルなどを指揮している。

2021年5月には『ローラン・ブティへのオマージュ』でパリ国立バレエにデビュー、23年3月にはトマの歌劇《アムレ(ハムレット)》でパリ国立オペラ座にもデビュー。同年4月にはモンペリエ国立歌劇場で《トリーードのイフィジエーヌ》、6月ルーアン・ノルマンディ歌劇場グノー《ロメオとジュリエット》に登場。2023/24シーズンでは23年10月に、ベルリン州立歌劇場で《イドメネー》を、11月にはベルガモのドニゼッティ・オペラ・フェスティバルで《ランメルムアのルチア》、さらに24年4月にはワロン王立歌劇場で《ペレアスとメリザンド》、1月ボルドー歌劇場で《真珠採り》を指揮。24年5月にはパリ国立オペラ座に再び招かれ《マノン》を指揮する予定。

日本ではこれまでにオーケストラ・アンサンブル金沢に2019年(日本デビュー)および23年1月に出演。24年2月にはパリ国立バレエ来日公演、《マノン》を指揮し絶賛された。

今回は紀尾井ホール室内管弦楽団との初共演であり、また東京でのシンフォニー・コンサートのデビューとなる。



チェロ ニコラ・アルトシュテット Nicolas Altstaedt, cello

美しい音色と、楽々とこなす技巧性で知られるドイツ・フランス系のチェリスト。現在活躍中のチェリストの中でも、最もクリエイティブで、多才な一人である。ソリスト、弾き振り、そして室内楽でも世界的に定評があり、バロック音楽から現代曲までの幅広いレパートリーの演奏で聴衆を魅了している。

2017/18シーズンには、ヘルシンキ・フェスティバルでエサ＝ベッカ・サロネン作曲のチェロ協奏曲を作曲者の指揮の下、フィンランド初演し賞賛され、アムステルダム・コンセルトヘボウで「アーティスト・イン・スポットライト」を務めた。

2012年にギドン・クレーメルから後継者に選ばれ、ロッケンハウス室内楽音楽祭の芸術監督に就任。2014年にはアダム・フィッシャーの後継としてハイデン・フィルの芸術監督にも就任し、ウィーン・コンツェルトハウス、エステルハージ・フェスティバルで定期的に演奏し、最近では中国・日本ツアーを行っている。

©Marco Borggreve

また、新作の初演にも積極的に取り組み、トマス・アデスやイェルク・ヴィトマン、ブライス・デスナー、ファジル・サイ、セバスティアン・ファーゲルントなどの作曲家と演奏を行っている。2016年には、ピアニスト・コンポーザーであるハウシュカに映画監督のフェデリーコ・フェリーニの台本にインスパイアされたチェロ協奏曲を委嘱し、同曲はロンドン・デュスブルクで初演された。ロッケンハウス・フェスティバルでの最近の室内楽録音は、2020年のBBCミュージック・マガジンの室内楽賞、及び同年のグラモフォン賞を受賞した。ハイペリオンで録音したアルカンジェロとジョナサン・コーエン共演によるC.P.E.バッハの協奏曲集は、2017年のBBCミュージック・マガジンの協奏曲賞を受賞し、ワーナー・クラシックのファジル・サイ共演のリサイタルのレコーディングは2017年のエジソン・クラシック賞を受賞している。

2024年には4月にウルバンスキ指揮リール国立管やガドナー指揮ロンドン・フィル、ラファエル・メルラン指揮ジュネーヴ室内管、自身の指揮と独奏でシュトゥットガルト室内管などの他、ベルチャ四重奏団との共演や、6月にはオーストラリア室内管との半月にわたる長期ツアーも予定されている。紀尾井ホール室内管弦楽団には2023年2月の第133回定期演奏会でショスタコーヴィチのチェロ協奏曲第1番を弾いてデビュー。すぐさま24年の再登場が決まった。

## 紀尾井ホールにご支援いただいている企業および個人の方々です

紀尾井サポートシステム会員(五十音順・株式会社等表記及び敬称略)

- 《特別協賛会員》 住友商事/日鉄ソリューションズ/三井不動産/三井物産/三菱商事/三菱地所
- 《みやび会員》 伊藤忠商事/大島造船所/鹿島建設/商船三井/菅原/住友商事/Dr.かずみ水田町クリニック/日本郵船/丸紅/三井住友銀行/三井住友信託銀行/三井不動産/三井物産/三菱商事/三菱地所/メタルワン ほか匿名2社
- 《ひびき会員》 大林組/オカムラ/高砂熱学工業/竹中工務店/東京きらぼしフィナンシャルグループ/山下設計
- 《みどり会員》 青鬼運送/赤坂維新號/今治造船/ヴォートル/エーケーティ/荏原冷熱システム/ザ・キャピトルホテル 東急/三協/清水建設/上智大学/西武リアルティソリューションズ/大成建設/千代田商事/テイクストライフ/東芝エテック/永田音響設計/ニュー・オータニ/ハウス食品グループ本社/パナソニック/みずほ証券/三菱UFJ銀行/三菱UFJ信託銀行/三菱UFJモルガン・スタンレー証券/ミュージジョン/明治座舞台/ヤマハサウンドシステム/ワークショップ21
- 《あおい会員》 青木陽介/浅沼雄二/淺見 恵/石崎智代/磯部治生/伊藤真理子/井上善雄/岩城宏斗司/上野真志/馬屋原貴行/大内裕子/大垣尚司/大久保なほ子/太田清史/小川 保/小倉 ヒロ・キヤエル/糟谷敏秀/片山順正/片山能輔/加藤巻恵/加藤優一/神川典久/川口祥代/川島知恵/菊池恒雄/木谷 昭/榎野貴夫/栗山信子/河野紗妃/小坂部恵子/齋藤公善/齋藤幸子/坂根和子/佐久間庸行/佐部いく子/澤田紀子/潮崎通康/柴田雅美/清水 正/清水多美子/清水康子/白土英明/末岡明武/鈴木順一/鈴木 亮/高下謙吾/田中 進/戸田純也/外山雄三/中塚一雄/中西達郎/中野洋子/中村健司/中山昌樹/名取正夫/原田清朗/藤村行俊/冬木寛義/北條哲也/堀川将史/牧本恵美子/松枝 力/松尾芳樹/松本美恵/丸井正樹/水口美輝/齋輪永世/宮島正次/宮田直子/宮武悦子/宮原 薫/宮本信幸/陸田 実/村上喜代次/村上敏子/持留宗一郎/八木一夫/八木晶子/矢田部靖子/山内寿美/山口 彰/山口 聡/横手 聡/吉見 亨/渡邊一夫/渡辺弘次/渡辺由香里 ほか匿名49名 計250口 (2024年4月1日現在)

日本製鉄文化財団 紀尾井ホールでは、皆さまからのご支援をお待ちしております。  
＜紀尾井サポートシステム(寄附会員制度)＞はこちら →



無料  
ご招待席

## 紀尾井みらいシート

紀尾井ホール・日本製鉄文化財団では若い世代の方に生演奏の感動を体験いただくための「紀尾井みらいシート」を設けています。小学生から高校生の皆さんを対象に主催公演にご招待します。

対象：小学生から高校生まで(公演日基準)とその保護者(※)  
※小学生は保護者同伴必須、  
中学生は保護者の承諾で本人単独での応募・来場可。

ご招待席数：10席  
応募期間：2024年5月24日(金) 正午～8月20日(火) 正午  
当選通知：締切後1週間以内をめぐにお知らせします。

応募方法：以下のURLを直接入力いただくか、  
右QRコードからお進みください。  
<https://kioihall.jp/kioimiraishet>  
※応募多数の場合は抽選となります。

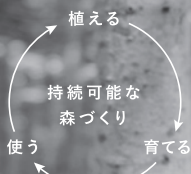


紀尾井ホール 公益財団法人 日本製鉄文化財団

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町6番5号 ☎03-5276-4500(代)  
紀尾井ウェブサイト <https://kioihall.jp>

- 四ツ谷駅 赤坂口・麹町口(R線・丸の内線・南北線)徒歩6分 ●麹町駅 2番出口(有楽町線)徒歩8分
- 赤坂見附駅 D出口(銀座線・丸の内線)徒歩8分 ●永田町駅 7番出口(半蔵門線)徒歩8分

木を植え、森を育てることも、  
街づくりの大切な一部なんです。



三井のすずちゃん



三井不動産グループ保有林  
北海道・深川市湯内

さあ、街から未来をかえよう

三井不動産グループ  
MITSUI FUDOSAN GROUP

三井のすずちゃんページはこちら →

